

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第4回 栃木東部地域会議
開催日時	平成30年7月25日 開会19時00分 閉会19時55分
開催場所	栃木市国府公民館 小会議室
出席委員氏名	荒川 直巳、石川 克法、大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、 柏崎 章吉、神戸 透、藺田 弘子、竹澤 克元、内藤 實、中澤 健次、 藤本 紀子
欠席委員氏名	石崎 久郎、神田 誠司、田邊 勇輝
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 中嶋 美佐、 大宮公民館長 大橋 勝造、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	・平成31年度実施予定の地域予算提案事業について ・栃木市立地適正化計画の策定方針について（情報提供）
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
1 開会	司会：中嶋 所長
2 あいさつ	荻島 会長
3 議事	
議 長	・本日の出席委員数について、センターから報告願う。
センター	・栃木東部地域会議の委員総数は16名のところ、本日の出席委員は12名である。 なお、神田委員、田邊委員からは所用のため欠席との連絡をいただいている。（その後、委員1名が遅れて出席し、13名になった。）
議 長	・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。
（1）平成31年度実施予定の地域予算提案事業について	
議 長	・センターから説明願う。
センター	・（前回決定した丸沼・長瀬公園整備事業のその後の経過について、大宮地区の委員に説明を求めた。）
委 員	・丸沼公園は、平成9年頃に3億6千万円かけて、そのうち2億7千万円の補助を受けて完成した。水を汲み上げる電気料が3か月で100万円くらいかかる。樹木の伐採なども行うとすると、水を流すのは3か月くらいで予算が目一杯になってしまう。7月になったので昨日（24日）と今日（25日）、水を流してもらったが、下まで流れて行かずに染み込んでしまう。1か月くらい流さないと下まで流れないの

かも知れない。公園緑地課と地域づくり推進課と相談した結果、地域予算から維持費として経費を出すのはどうなのか、そうではなくて形が残る物を買って設置するのが本来の地域予算の使い方ではないか、ということになった。夏の3か月の間だけでも親水公園らしく（市で）水を流してもらうということを条件に、地域予算ではその前提として環境整備を行うのがよいのではないか、という話が出てきた。大宮地区全体の考えとしては、できれば年間を通して水を流して欲しいところだが、今の市の財政では難しいだろうと言われている。地域づくり推進課の考え方として、公園内にある12灯の水銀灯が、付近の住宅を照らさないようにして周りが明るくないから、LED化して少しでも電気料を安くして、その分を水を流す方に回したらよいのではないか、という話をされた。公園緑地課で調べたところ、ポンプは口径80ミリのパイプで深さ30メートルから汲み上げている。モーターが7、8馬力くらいあるものを使っている。このことから1年間水を流し続けることは難しい、と説明があったが、大宮地区としては少しでも長い期間水を出して公園の機能を残しておきたい。

委員 ・水を流す電気料や水銀灯の設置は本来市でやることで、地域予算には該当しないものだろう。水を流すことは今後も公園緑地課にお願いしていく。昨日の会議では、限りある地域予算を有効に活用するため、この公園を管理している4自治会で、公園に設置するのにふさわしい物を考えることを宿題とした。8月中に結論を出して、大宮地区まちづくり協議会の会長に見積書を添えて提出する。雨にも強いベンチや藤棚の下のテーブルなどが考えられると思う。

委員 ・去年、藤の伐採で150万円かかったと聞いている。この伐採にはある程度継続してお金をかけないと公園としての機能がなくなる、と公園緑地課に言われている。沼の四角の囲みからポンプで水が出る仕組で、昨日と今日、水を流したが北から2つ目の橋くらいまでしか流れず、染み込んでしまった。水道代がもったいないと言っても、水を流さないとこの公園の機能が働かない。

委員 ・公園を維持するのにこんなに費用がかかるのか。

委員 ・電気代が月20万円で、伐採で去年は150万円かかっている。通行止めの木の橋を直すのには800万円かかると言われた。その橋は川幅の長さしかなく、設計上のミスではないかと公園緑地課に言ったが、とにかく通れないから通さないでくださいと言われた。

委員 ・水を流す電気料で月20万円もかかるのか。

委員 ・竣工した当時の水量にするには月20万円かかる。夏だけでも水を流すよう（地域予算とは）別個に市と交渉していくしかない。水を流すことについては地域予算では考えなくてよいと思う。

委員 ・水をからめたら、それだけで（地域予算が）終わってしまう。

委員 ・今日、公園に行ってきたが、先ほどのポンプの馬力にしては水の勢いが弱い。農業用水ならその3倍くらいの勢いがあるし、電気料も月5万円くらいで済むのではないか。金額を抜きにしても、水を流す電気料をどこが払い続けるのか。大宮地区で負担できるのが一番いいが、そうもいかないと思う。

委員 ・水を流すことは、大宮地区全体で市に交渉する。4自治会で構成する管理組合で整備内容を考えるので、1か月くらい待ってもらいたい。

- 委員 ・早めに内容を決めないと、提案が間に合わなくなるのではないか。
- 委員 ・それは心配している。
- 委員 ・自治会からは、太陽光発電を利用できないかという意見が出たが、そのためには1千万円以上かかるようだ。公園緑地課と地域づくり推進課からは、今ある水銀灯をLED化することで、消費電力が3分の1になり、耐用年数は3倍になるのだから、照明器具を交換してなるべく維持費を安くして、その浮いた分を水を流す電気料にしてはどうかと言われている。これらのことから、公園管理の4自治会から挙がってくるテーブルなどを設置することと、水銀灯をLED化することを提案事業内容としたいと思っている。
- 委員 ・間に合わなければ仕方ないが、それではもったいないから、4自治会からはなるべく早く出してもらおう。もし提案限度額を超える場合は、大宮の自治会連合会などで補填するなどを検討したい、とも伝えてある。水を流す件については、市や県・国の議員、各方面にもお願いしてみるしかないと思う。
- 委員 ・公園の南側にある水路にフタでもしてもらえると、ぐるり散策できると思う。橋を渡ってみたが、別に大丈夫だった。場所によっては朽ちているところもあった。
- 委員 ・私も、人が通る分には大丈夫じゃないかと公園緑地課に言ったが、安全性を考えると通るのは勘弁して欲しいと言われた。人だけでも通れるようにできないか、とも言ってきた。
- 委員 ・補強という方法はできないものか。
- 委員 ・橋の下を覗き込んだら、桁はしっかりしている。
- 委員 ・地域予算は、新たに何かを作るといことなら問題なく審査を通ると思うが、水銀灯をLEDに変えるとか、橋を直すとかは本来の趣旨から外れていて通らないのではないか。
- 委員 ・本来管理している公園緑地課でやるべきことだ。
- 委員 ・行ってみると立派な公園だ。
- 委員 ・公園を整備するのに当時で3億何千万円もかかったなんて初めて知った。その頃は国の財政も豊かで出来たことなのだろう。当時の県会議員もずいぶん骨を折ってくれたものだから、このままにしているもったいないという気がしている。水利組合からもお願いしたのかも知れない。要望するものによっては、お願いする場所が違う。
- 委員 ・公園管理の4自治会から設置したいものを挙げてもらうのは、センターとしては次回8月22日の地域会議でも間に合うのか。最終的に何日までに必要か。
- 委員 ・提出日が分かればそれまでに間に合わせたい。見積まで出すのか。
- 委員 ・要望を出すと、地域づくり推進課の方で見積までしてくれる。
- 委員 ・今までの例としても、国庁まつりの常設舞台にしても、建築課の方でやってくれた。
- 委員 ・舞台に屋根を乗せるようお願いしたが、我々の意見は通らない。建築課が設計して、文化課と話し合ったようだ。
- 委員 ・大宮運動広場の休憩所の時、設計と確認申請で30万円くらいかかって、出来上がったらまた検査があつて、300万円かけても物自体は150万円くらいなのではないかと思う。
- 委員 ・農村広場のステージは屋根をかけないから確認審査が要らない。

委員 ・いつまでに提出したらよいか調べてもらって、大宮地区まちづくり協議会の会長に伝えて欲しい。

センター ・外灯のLED化については、公園緑地課で金額は出ると思う。

委員 ・それは公園緑地課（のもともとの予算）でやるべきではないか。LED化して電気料が安くなるのだから。それを地域予算でやったら、それだけで限度額になってしまう。橋についても危険だから直すように言うべきだ。

委員 ・通行止めの橋は構造上の欠陥だと思っている。

委員 ・いつまでに提出したらよいか調べて、会長へ連絡していただきたい

委員 ・どんなテーブルを置いたらいいかとか、迅速に話を進めたい。

議長 ・形として残る物の設置を前提として、維持費などにあまり予算を使わない方向で進めたい。

委員 ・疑問に思っているのは、市のホームページでこの公園の維持費に年間350万円かかると謳っているが、今は（水を流さずに）干上がらせていることだ。橋を通行止めにしたからそれで良しとすると、公園の機能が失われる。

(2) その他（無し）

4 その他

(1) 情報提供

・栃木市立地適正化計画の策定方針について

（5月に情報提供のあった市街地調整区域における地区計画制度活用方針も含めて、郊外は見捨てられている、市役所周辺でさえも人と家が減っている、我々にとっては適正化ではない、などの発言があった。）

(2) 事務連絡

センター ・まちづくり懇談会ふれあいトークが8月10日（金）午後6時30分から国府公民館で開催される。ご参加の程よろしくお願ひしたい。

センター ・次回会議は8月22日（水）午後7時から大宮公民館で開催する。

以上